

National Institute of Technology (KOSEN), Toyota College

Mechanical Engineering
Electrical & Electronic Engineering
Information & Computer Engineering
Civil Engineering
Architecture



国立豊田工業高等専門学校 入学案内



2026

中学生の皆さんへ

豊田高専（豊田工業高等専門学校）は、技術と知識を深め、未来のリーダーを育成する場所です。もし、あなたが理科や数学が得意で、ものづくりに興味があるなら、豊田高専は最適な選択肢となるでしょう。

高専は大学と同じ高等教育機関に分類され、中学校を卒業した皆さんに対して5年間の技術者教育を行う学校です。数学や物理、化学は、科学技術で利用されることを前提にしたカリキュラムの中で位置づけられています。本校では、機械、電気・電子、情報、環境・都市、建築など、さまざまな分野について専門的な知識を学び、その知識を実際の技術に活かす体験ができます。また、個々の技能だけでなく、チームワークや問題解決能力も養われます。さらに、本校の特長として、地域コミュニティの問題解決に取り組む体験実習や、英文多読教育を通じて英語力も強化される充実したカリキュラムがあります。また、学生が海外の外国人学生とペアを組んで参加する国際交流ビデオコンテストやロボットコンテストなどの課外活動にも積極的に参加することが奨励されています。卒業後は、半数が就職し、半数が大学編入を果たしますが、本校卒業生は、「できないと諦めるのではなく、できるように手を動かす」という姿勢が企業や大学から高く評価されています。

豊田高専は充実した施設と環境が整っている点でも魅力的です。特に寮が完備されており、遠方から通う学生や一人暮らしを始める学生にとって、安心して学業に集中できる環境が提供されています。ここでは、他の学生との交流を深める機会も多く、学校生活がより豊かになるでしょう。そして、本校のもう一つの大きな特徴はその国際性で、毎年40名を超える学生が海外留学の機会を得ています。留学生も在籍しており、国際交流を通じて異文化理解を深め、広い視野を持つことができます。

豊田高専は、技術を学び、国際的に活躍する力を養うための最適な環境を提供しています。ものづくりに興味があり、将来技術者として活躍したいと考えているなら、豊田高専での学びは、あなたの夢を実現するための第一歩となるでしょう。ぜひ、豊田高専での充実した学びを考えてみてください。

校長 阿波賀 邦夫



目 次

中学生の皆さんへ	0 1	共同利用施設	1 2
創造的エンジニアへのユニークな道	0 2	学生寮	1 3
豊田高専の特色	0 3	クラブ・同好会活動	1 4
卒業生からのメッセージ	0 4	学費・奨学金	1 5
一般教育	0 5	年間行事	1 6
機械工学科	0 6	進学	1 7
電気・電子システム工学科	0 7	就職	1 8
情報工学科	0 8	中学生からの質問と回答	1 9, 2 0
環境都市工学科	0 9	豊田高専のデータ	2 1
建築学科	1 0	入学試験の要点	2 2
専攻科	1 1		

創造的エンジニアへのユニークな道

高等専門学校(以下「高専」)は、社会が必要とする技術者を養成するために1962年(昭和37年)に設立されました。高専は、中学校の卒業生を受け入れて、1学科40名による5年間の一貫教育を行う高等教育機関です。

現在、我が国には51の国立高専と7の公立及び私立高専があります。(下の図の○印)

高専では、幅広く豊かな人間教育を目指し、数学・英語・国語などの一般科目と専門科目をバランス良く教育しています。

実験・実習を重視した専門教育を行い、大学とほぼ同程度の専門的な知識や技術が身につけられるように工夫されています。特に卒業研究では、エンジニアとして自立できるよう応用能力を養うことを目的としており、学会で発表できるような水準の高い研究も生まれています。

高専を卒業した者は「準学士」と称することができます。



大学・大学院へのユニークな道

高専では、5年間の一貫教育で大学とほぼ同程度の専門的な知識や技術を身につけられますが、さらに高度で幅広い専門的技術や知識を学びたい学生は、右の図のように、大学や専攻科、大学院へ進学ができます。

「高専 ▶ 大学 ▶ 大学院」

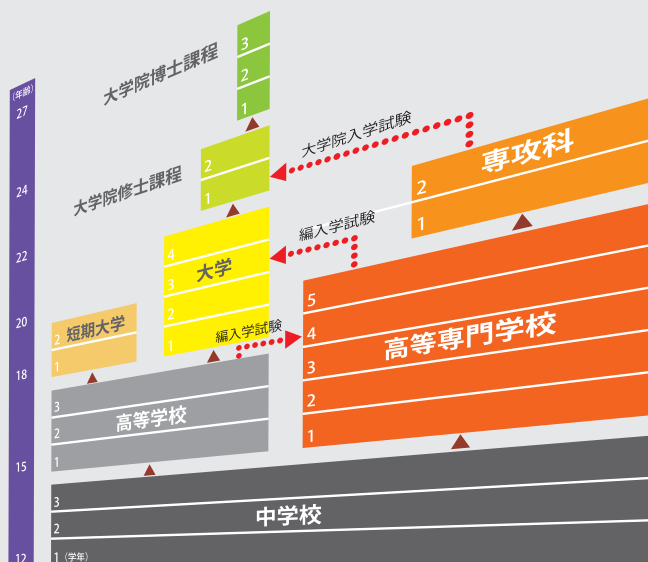
または

「高専 ▶ 専攻科 ▶ 大学院」

の各ルートは、

「高校 ▶ 大学 ▶ 大学院」ルートに並列するユニークな学校制度を実現しています。

(豊田高専からの進学状況については17ページを参照してください。)



豊田高専の特色

- | | |
|---|-----------|
| (1) 基礎学力の養成を重視した教育システム | (5～10ページ) |
| (2) バランスのとれた一般教育 | (5ページ) |
| (3) 実験・実習を取り入れた専門教育 | (6～10ページ) |
| (4) 本科卒業生のための専攻科 | (11ページ) |
| (5) 利用率の高い図書館やICTセキュリティ教育センター | (12ページ) |
| (6) 研究施設などが充実 | (12ページ) |
| (7) 教育の一環として学生寮が完備 | (13ページ) |
| (8) 学業と並列してクラブ活動も活発 | (14ページ) |
| (9) 学費が大学と比べて半分程度 | (15ページ) |
| (10) 授業料免除制度や奨学金制度が充実 | (15ページ) |
| (11) 卒業生の約半数が国立大学や専攻科に進学 | (17ページ) |
| (12) 求人倍率は就職希望者の20倍以上 | (18ページ) |
| (13) 専門性の高い教員によるきめ細やかな指導 | |
| (14) 海外留学，ロボットコンテスト，デザインコンペティション，プログラミングコンテスト，英語プレゼンテーションコンテストなどに学生が積極的 | |

過去3年間の入試倍率

	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
	志願者数	入学者数	倍率	志願者数	入学者数	倍率	志願者数	入学者数	倍率
機械工学科	88(9)	42(5)	2.2	71(4)	43(2)	1.8	83(13)	43(9)	2.1
電気・電子システム工学科	84(14)	41(8)	2.1	78(8)	43(3)	2.0	79(13)	43(8)	2.0
情報工学科	123(30)	41(13)	3.1	105(18)	42(8)	2.6	111(17)	41(8)	2.8
環境都市工学科	47(19)	41(14)	1.2	87(26)	43(12)	2.2	56(19)	43(15)	1.4
建築学科	80(39)	42(22)	2.0	74(39)	42(23)	1.9	81(34)	42(17)	2.0
合計	422(111)	207(62)	2.1	415(95)	213(48)	2.1	410(96)	212(57)	2.1

() は内数で女子

卒業生からのメッセージ

■西木 峻 機械工学科 令和3年度卒 トヨタ自動車(株)モビリティツーリング部 勤務

私はみなさんと同じ中学生の頃、新型のクルマに惹かれて「自動車関係の仕事がしたい！モノづくりがしたい！」と思うようになりました。母の職場の方の紹介がきっかけで高専という存在を知った私はすぐに、技術者として専門的な知識が得られ、モノづくりができる豊田高専 機械工学科を志望しました。

高専の機械工学科の魅力としてはやはり「レベルの高い専門教育を機械分野のみならず情報工学から制御工学、電気工学まで幅広く学べること」「設計製図・実習や実験などで実際に手を動かしながら様々なことを経験できること」ではないかと思います。この知識・経験は現在の業務を行う上でもいろいろな所に大いに役に立っています。

また、学生寮での共同生活も大きな財産になります。最大4年離れた先輩や友達と共に過ごし、自分たちで身の回りのことを行う必要があるため、楽しい生活を送りながらもコミュニケーション力や人間力を養うことができたと思っています。

私は卒業後、就職するという選択肢を取りました。入社前は高専卒という肩書きで不安になることもありましたが、実際に入ってみると即戦力として通用する専門的な知識・経験が身につけていることに気づき、高専の教育に驚きました。

私は現在、自動車のボディー部品の型設計を行っています。自分が中学生の頃に目指した職に付き、自分が行う設計を通じて世界中の人々に幸せを提供する仕事をしております。

工学に興味があり、自分のやりたいことがある方々には高専がとてもおすすめです。ぜひ入学を目指してみてください！



■磯部朱梨 電気・電子システム工学科 令和3年度卒 ブラザー工業(株) 勤務

豊田高専での5年間は山あり谷ありでしたが、とても充実した時間でした。高専の5年間で、留学を通して海外への興味を持ったり、沢山の専門知識を得たりして、とても成長することができました。海外では困難なこともありましたが、個性豊かで素晴らしい友人達に助けられ、乗り越えることができました。

現在、私は高専生活で身につけたことを活かしながら、海外工場と連携を取り、新機種の立ち上げ業務や工場能率の改善、業務の自動化などに携わっています。1年目からの海外出張に物怖じせず挑戦できているのは、高専時代に沢山の行事に挑戦する機会があったからです。

豊田高専での学生生活・寮生活・私生活は、自分の行動次第で限りなく幅を広げられると思います。皆さんも豊田高専へ入学後、やりたいことを見つけ、様々なことに挑戦して未来の選択肢を広げていってください。私自身これからも挑戦を続けていきたいと思っています。



■佐々木美奈実 情報工学科 令和4年度卒 株式会社トヨタシステムズ 勤務

技術者としての道を進むためには、豊田高専が最適なスタート地点だと私は感じています。

中学生の頃、急速に進む情報化社会で活躍する大人になりたいと思い高専進学を決めました。1年生から技術についての講義を受け、多くの実践的な授業を通して知識と経験値を得ることができました。また潜在的な論理的思考力も習得することができ、現在も社会人生活で活かされています。

高専の生活では、技術力だけでなく社会に出てからひとりで生きていくための自律力や人間力も習得できたと実感しています。寮生活では自分の生活を自分の力でやる力、学校では10教科以上ある教科を管理して学ぶ力、生活や勉強について1人で乗り越えることが難しくなった際に周りの人へ協力を求める力、これらの力を高専生活で身につけることができました。高専で得た力を活かし、日々SEとしてより良い社会への挑戦を行っています。

技術者という夢がある方は、ぜひ高専という道を選んでみてください。高専の面白い＆楽しい5年間であなたの夢を現実にししましょう！



■大石 萌 環境都市工学科 令和3年度卒 国土交通省 中部地方整備局 浜松河川国道事務所 勤務

私は中学生の時に訪れたオープンキャンパスで見学した測量やブロックの橋を見て土木に興味を持ったことと、豊田高専は学生寮が充実していることや国際交流に力を注いでおり、留学制度が整っている学校だったので入学を希望しました。

私は現在、国土交通省中部地方整備局に入局し、様々な河川事業の計画を立てています。また、台風や大雨の際には洪水警報の発令業務を行っています。

豊田高専で過ごした5年間では、専門知識や技術力の習得以外にも、寮生活や部活、課外活動を通して様々な人々と関わる機会があり、どれもかけがえのない時間でした。

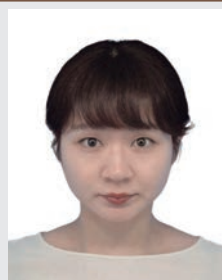
普通高校では体験できないことが高専では沢山あると思うので、ぜひ高専に入学して立派な技術者を目指してください！



■小出果歩 建築学科 令和2年度卒 株式会社浦野設計 勤務

高専の魅力は、高校1年生の年齢から専門科目を学べることだと思います。私は「建築で社会貢献がしたい！」という夢を抱き、入学しました。高専では5年間、座学から実験、製図や模型製作など、多様な授業を通して、着実に、夢を叶えるための知識を積み上げることができました。今では建築設計事務所に就職し、主に公共施設の設計を行っています。分け隔てなく全ての人に行き渡る公共施設の設計は、やりたかったことそのものです。夢は少し叶ったかなと実感していますが、建築技術、知識をつけることに終わりではなく、技術者となる以上は学び続けることになります。そんな技術者人生にとてもワクワクしています。なぜなら、「好きなこと、やりたいこと＝仕事」だからです。

高専で早くから専門科目を学び、着実に知識を積み上げて、好きなことを仕事にする、そんな未来を描いてみませんか。高専の専門分野のなかに、興味を持った方は是非、入学してほしいと思います。きっと、好きなことに時間を使える人生の入口になるはずです。楽しい技術者人生のスタートをきってみてください！



一般教育では、文系・理系を問わずいろいろな科目を学びます。広い視野に立って、考察し判断できる技術者になっていたくためです。

特に数学では、基礎から技術者に必要とされる高度なものまで、幅広く学びます。

英語では、一般英語のほかに科学英語や外国人による英会話を学んだり、プレゼンテーション指導も行います。

理科は専門科目を学ぶうえで不可欠な科目で、講義だけでなく物理実験や化学実験を通して、さらに理解を深めていきます。

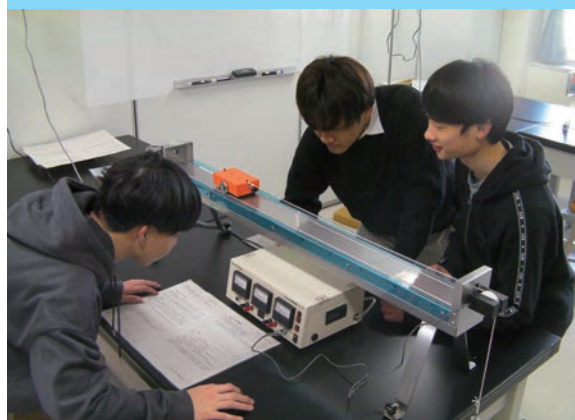
その他にも、国語や社会、保健体育等、楽しく、教養を深める授業があります。第3学年修了時には、高校卒業程度と認定されます。

また、指導教員(担任)の指導体制のもと、学習、部活動、学校行事、寮生活に至るまで、細かい指導が受けられます。

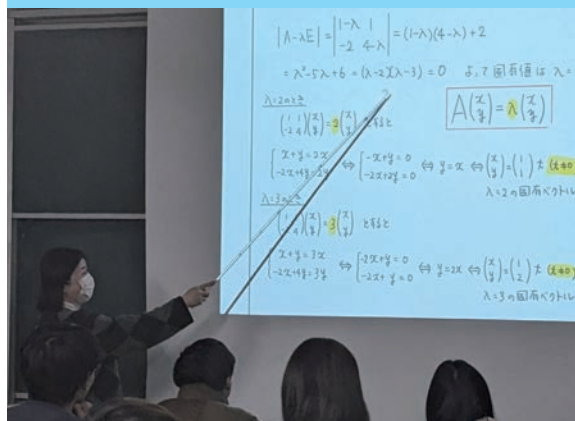
“学ぶときは学び、遊ぶときは遊ぶ”そんな青春時代の1ページを飾ることができるでしょう。



▲英語の多読授業



▲物理実験の様子



▲数学の授業

一般教育

General Education

一般教育の授業予定科目

第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年
国語Ⅰ甲・乙	国語Ⅱ	国語Ⅲ	日本語表現	保健体育Ⅴ
公共	歴史	歴史総合	保健体育Ⅳ	英語Ⅱ
地理	基礎解析Ⅱ	倫理	英語Ⅰ	文学特論
基礎解析Ⅰ	線形数学Ⅱ	基礎解析Ⅲ	科学英語基礎Ⅱ	人文科学特論Ⅰ
線形数学Ⅰ	物理Ⅱ	基礎解析Ⅳ	哲学Ⅰ	社会科学特論Ⅰ
総合理科	物理実験	微分方程式	現代社会学Ⅰ	英語Ⅲ
物理Ⅰ	化学Ⅱ	確率	法学Ⅰ	ドイツ語
化学Ⅰ	保健体育Ⅱ	化学Ⅲ	経済学Ⅰ	人文科学特論Ⅱ
保健体育Ⅰ	英語コミュニケーションⅡ	保健体育Ⅲ	哲学Ⅱ	社会科学特論Ⅱ
英語コミュニケーションⅠ	英語表現	英語コミュニケーションⅢ	現代社会学Ⅱ	
英語会話		科学英語基礎Ⅰ	法学Ⅱ	
英語表現基礎			経済学Ⅱ	

身近にあるいろいろなモノを作るために、どのような知識が必要か考えてみましょう。まず戸外から。はじめに電車、バス、航空機などの乗り物。どれもまず構造を考え、材料を加工して形にして、強度を保って機械として機能させるなら、機構、材料、加工法、また材料に働く力のことを知らなければなりません。動力のエンジン、高速で移動する物体が空気から受ける力についても勉強が必要です。つぎに動くものではないけれども、テレビ塔のような構造物、また地中には生活に不可欠な水やガスが流れる水道管、ガス管が埋まっています。ここにも材料や材料強度の知識、また管内の水やガスの流れについて知らなければなりません。家の中を見回せば、冬は温風、夏は冷風が出てくるエアコン、高速で回転している洗濯機のドラムが目にとまります。このような機械を考えるためには熱や、振動・回転する物体に関する知識が必要です。

機械工学科の専門授業科目を見てください。上で述べたことから実験・実習をしながら学べることがわかるでしょう。卒業後は、すぐに就職してもよいし、あるいはもっと深く勉強したくなれば進学もよいでしょう。機械工学科には君のやりたいことがきっとあるはずです。最後に、機械工学科には、毎年複数の女子学生が入学しています。これまで女子学生の就職や進学で困ったことはありません。将来の女性エンジニアを目指して、ぜひ機械工学にチャレンジしてください。

機械工学科

Mechanical Engineering



▲ロボコン2023全国大会



▲機械設計製図の授業



▲創造総合実習

機械工学科の専門授業予定科目

第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年
機械工作法Ⅰ	材料学Ⅰ	応用物理学	統計学	熱力学Ⅱ
基礎実習	情報工学Ⅰ	物理Ⅲ	解析学	水力学Ⅱ
工学基礎演習	工業力学Ⅰ	材料力学Ⅰ	材料力学Ⅱ	機械力学Ⅱ
情報基礎	基礎製図	材料学Ⅱ	熱力学Ⅰ	機械システム設計
	機械工作法Ⅱ	情報工学Ⅱ	水力学Ⅰ	制御工学
	メカトロニクス実習	工業力学Ⅱ	機械運動学	卒業研究
		機械要素設計	機械力学Ⅰ	
		機械設計製図	基礎電気磁気学	
		創造総合実習	電気電子回路	
			工学実験	

電気自動車，太陽光発電，家庭用・産業用ロボット，液晶ディスプレイ，地デジ・BS放送・携帯通信網と，電気・電子システムはハードウェアからソフトウェアまで，電気に携わる物を対象にしています。

これからの社会を支える中核技術を学ぶためには，理論と実践の融合が大切と考え，電気・電子システム工学科では1年次から5年次まで一貫して，実験・実習・研究による豊かなものづくり体験と電気回路・電磁気学での根本から考える理論学習を並行して行っています。講義等で学んだ理論を実験・実習（例えば1年次はモータ製作，2年次はマイコンを用いた回路製作とプログラミング実習，3年次はマイコンライントレースマシン製作，4年次はロボットサッカー大会）を通じて，ものづくりの面白さを体験するとともに，社会に出て即戦力になる実践的教育を行っています。また，英文多読授業（電気英語）により，国際的に活躍できる英語の得意な学生も増えています。

その成果は，ロボカップ世界大会での活躍，ロボコン全国大会での受賞（ロボコン大賞，技術賞，デザイン賞獲得），本校専攻科や有名国立大学への進学実績や，エレクトロニクス，情報通信，エネルギーを中心に幅広い分野の有力企業への就職実績に表れています。女子学生の進路も堅調で，例えば近年に卒業した女子学生の進路先は，日立産業制御ソリューションズ，JALエンジニアリング，NHKテクノロジーズ，ブラザー工業，スズキ，浜松ホトニクスなどです。

電気・ 電子システム工学科

Electrical & Electronic Engineering

電気・電子システム工学科の専門授業予定科目

第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年
電気基礎演習	電気英語基礎Ⅰ	応用物理学	解析学	統計学
基礎電気工学	電気数学	物理Ⅲ	電気技術英語Ⅰ	電気技術英語Ⅱ
情報基礎	電気回路	電気英語基礎Ⅱ	交流回路	国際標準電気電子工学Ⅱ
創造電気実験実習	マイクロコンピュータ工学	基礎交流回路	回路理論	エネルギー変換工学Ⅱ
	電気基礎実験	電気磁気学Ⅰ	国際標準電気電子工学Ⅰ	電力工学
		プログラミング基礎	電子回路	システム制御工学
		PBL実験Ⅰ	電気計測	パワーエレクトロニクス
		電気電子工学実験Ⅰ	電気磁気学Ⅱ	半導体工学
			エネルギー変換工学Ⅰ	デジタル回路
			電子工学	応用情報技術
			プログラミング技法	卒業研究
			電気電子工学ゼミ	
			PBL実験Ⅱ	
			電気電子工学実験Ⅱ	



▲ロボカップ世界大会連続出場中



▲3年次のマシン製作実験



▲2年次の電気基礎実験

「情報工学」というのは、「情報」を工学的に利用するために必要な理論と技術について考える学問です。そして、その学問を学ぶために欠かせない存在が「コンピュータ」です。

情報工学科では、コンピュータの「しくみ」からその「応用」にいたるまで、周辺知識も含めた幅広い学習内容を、体系化されたカリキュラムにより効果的に習得することができます。情報工学科のカリキュラムは、「数理基礎」・「ハードウェア」・「ソフトウェア」といった各分野の基礎知識をバランスよく習得できるように設計されており、IoT（Internet of Things：身の周りのあらゆるモノがインターネットにつながる仕組み）や人工知能、セキュリティといった最新の技術にも対応できるようにしています。

コンピュータの技術というと華やかなイメージがあるかもしれませんが、情報工学科では、流行を追いつめるのではなく、基礎的な勉強をとても大切にしています。いかにコンピュータや情報通信技術の進歩が速くとも、その基礎となる理論や技術は不変です。そういった基礎知識の土台の上にこそ、新しい技術を吸収し、活用していく実践力が育まれるのです。

卒業生は、就職では情報サービス、情報通信、輸送用機器および電気機器製造など幅広い産業界で活躍しています。進学では、本校専攻科及び地元だけでなく全国の国公立大学に編入学しています。

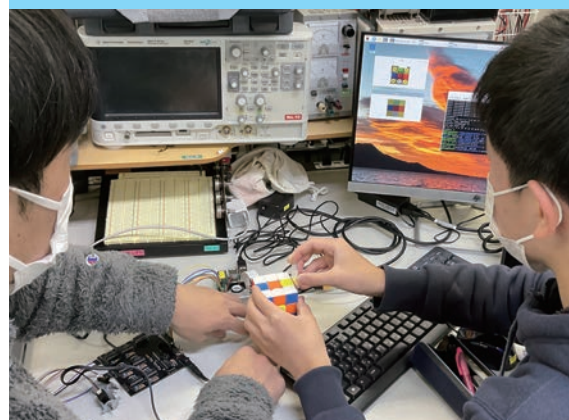
みなさんの夢の実現に向け、情報工学科で学んでみませんか。

情報工学科

Information & Computer Engineering



▲1年次の情報工学ゼミ（少人数ゼミ）



▲3年次のエンジニアリングデザイン（実験・実習）



▲4年次の情報ネットワーク（講義・実習）

情報工学科の専門授業予定科目

第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年
コンピュータリテラシ	プログラミングⅡ	応用物理学	解析学	統計学
プログラミングⅠ	デジタル回路Ⅰ	物理Ⅲ	オブジェクト指向プログラミング	プログラミング言語論
情報技術概論	回路理論Ⅰ	アルゴリズムとデータ構造	システムプログラム	コンピュータシステム設計
情報基礎	数理工学演習Ⅱ	デジタル回路Ⅱ	ソフトウェア設計	情報回路理論
数理工学演習Ⅰ	工学実験Ⅰ	コンピュータ工学	コンピュータアーキテクチャⅠ	制御工学
情報工学ゼミⅠ		回路理論Ⅱ	コンピュータアーキテクチャⅡ	形式言語論
		過渡現象論	電気磁気学	離散数学
		数理工学演習Ⅲ	信号解析	数値解析
		工学実験Ⅱ	情報ネットワーク	情報理論
		エンジニアリングデザインⅠ	通信工学	情報工学ゼミⅢ
			サイバーセキュリティ	卒業研究
			数理工学演習Ⅳ	
			知能メディア処理	
			エンジニアリングデザインⅡ	
			情報工学ゼミⅡ	

環境都市工学科では、私たちの生活環境をとりまく、なくてはならない市民生活に必要な工学を学びます。災害時によく言われる道路、水道、ガス、電気などのライフラインの確保、これらは、まさに環境都市工学の分野が担当しています。日常生活を豊かにする道路、鉄道（在来線、新幹線）、バス、電気、水道・下水道、河川、ダム、港、空港などそれらすべてが環境都市工学に関係しています。人々の暮らしを豊かにし、住みやすい環境を整え、自然にも人にも優しくする、言わば「世のため人のため工学」が環境都市工学科で学ぶ内容なのです。

環境都市工学科の授業科目は、大きく分けて、基礎科目、共通専門科目、都市建設系科目、環境系科目、総合科目の5つに分類されています。基礎科目では専門科目を学ぶ上で必要な理数系の応用数学やコンピュータなどを、共通専門科目では応用的な専門科目を学習する上で基礎となる測量学、構造力学、水理学、土質力学、材料学などを学びます。都市建設系科目では、建設技術に関する建設施工や都市計画などを、環境系科目としては、環境問題や環境保全技術などを学びます。

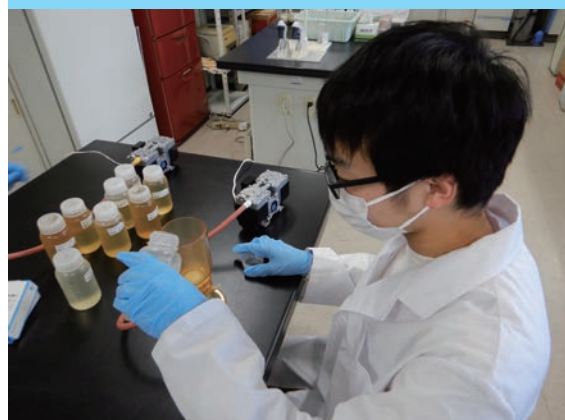
卒業後の進路は、就職では難関の国家公務員や地方自治体の技術系公務員、建設会社、設計会社、社会基盤を支える鉄道会社、電力会社やガス会社など活躍の舞台は広がっています。進学では、本校専攻科、国立大学の建設系・環境系の学科への編入学に40%程度の卒業生が進んでいます。

環境都市工学科

Civil Engineering



▲コンピュータを用いた都市施設の設計



▲森で採取した水の成分を分析



▲河川での環境調査

環境都市工学科の専門授業予定科目

第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年
情報基礎	設計製図基礎	応用物理学	統計学	データサイエンス
測量学Ⅰ	測量学Ⅱ	物理Ⅲ	解析学	設計製図
測量実習Ⅰ	測量実習Ⅱ	水環境工学	情報処理	リモートセンシング
環境工学基礎	都市づくり入門	水理学Ⅰ	建設設計論	土木計画学
建設材料学Ⅰ	地球環境科学	構造力学Ⅱ	都市計画	河川工学
防災リテラシー	構造力学Ⅰ	土質力学Ⅰ	交通計画	鋼構造
環境都市工学基礎演習	建設材料学Ⅱ	コンクリート構造学Ⅱ	環境衛生工学	建設施工
	コンクリート構造学Ⅰ	環境都市工学実験Ⅰ	水理学Ⅱ	卒業研究
		プロジェクトデザインⅠ	構造力学Ⅲ	
			土質力学Ⅱ	
			コンクリート構造学Ⅲ	
			環境都市工学実験Ⅱ	
			プロジェクトデザインⅡ	
			環境都市応用工学	

建築は、「工学」と「芸術」を融合した学問です。また、生活の器であり、身近に先人の知恵と技術が活用されています。

本校は、実践的技術者養成のために開学されています。そこで、建築学科カリキュラムでは、学生が設計競技などに参加し、実務に向けての基礎知識を養うことができるように設計製図・実験など実践的な科目が他高専建築学科より多く設けられています。この特徴的なカリキュラムと学生らの努力で、昨今、多くの学生が、全国レベルの設計競技などで入賞を果たしています。

授業科目は、上述のように1年次からデザインや設計製図があり、さらに数学などの一般科目の履修状況に対応して、2～3年次から建築計画、構造力学、環境工学などの科目が始まり、5年間で創造力ある建築技術者を育成します。

建築学科を卒業すると、一級建築士の受験資格が与えられます。これは大学卒業よりも2年早く受験資格を得ることになります。

卒業生の50～70%程度が就職し、住宅会社で戸建て住宅の設計や施工管理、大手建設会社で大規模建物の施工管理、住宅機器メーカーで商品開発などに従事しています。30～50%程度の卒業生は、国公立大学の建築学科や本校専攻科へ進学しています。



▲デザコンの作品展示と審査員講評



▲こよう祭(文化祭)の展示



▲4年次の建築材料実験(RC梁の曲げ試験)

建築学科

Architecture

建築学科の専門授業予定科目

第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年
情報基礎	建築CADⅡ	応用物理学	統計学	都市計画
建築CADⅠ	建築設計製図Ⅱ	物理Ⅲ	解析学	建築設備Ⅱ
建築設計製図Ⅰ	空間デザイン	技術表現法	建築設計製図Ⅳ	建築振動学
建築構法・木質構造	建築構造力学Ⅰ	建築設計製図Ⅲ	建築計画Ⅲ	構造設計
		建築計画Ⅰ	建築史Ⅱ	基礎構造
		建築計画Ⅱ	建築環境工学Ⅲ	卒業研究
		建築史Ⅰ	建築環境実験	
		建築環境工学Ⅰ	建築設備Ⅰ	
		建築環境工学Ⅱ	建築構造力学Ⅲ	
		建築構造力学Ⅱ	建築構造実験	
		建築材料	鉄筋コンクリート構造	
			鉄骨構造	
			建築学輪講	
			建築材料実験	
			建築生産	
			建築法規	
			建築学ゼミナール	



▲電子機械工学特別実験



▲建設工学創造実験



▲情報科学実験

■電子機械工学専攻

電気・電子技術と機械技術を融合した複合技術（メカトロニクス）について学びます。

■建設工学専攻

人と自然にやさしい都市作りの技術と安全で快適な生活空間を作り出す技術について学びます。

■情報科学専攻

これまでに培われた「豊かな体験」と「基礎理論の深い理解」を融合させ、社会の多様なニーズに応えるコンピュータシステムを設計・開発するためのデザイン能力を磨きます。

専攻科

豊田高专では、卒業後にさらに高度で幅広い知識や技術を学ぶために専攻科があります。

専攻科には、電子機械工学専攻、建設工学専攻、情報科学専攻があり、毎年20～30名の学生が入学し、2年後に学士(工学)の学位を取得して卒業(修了)していきます。

学位「学士(工学)」の取得

専攻科で所定の単位を修得し、かつ、大学改革支援・学位授与機構が行う審査を経て、4年制大学卒業と同じ「学士(工学)」の学位が授与されます。

共同利用施設

■図書館

図書館は令和7年度に改修工事を行います。改修工事中は図書館の利用ができません。

改修後は図書の閲覧スペースのほか、ラーニングcommonsやグループ学習のためのスペースを設置し、学生の自学自習を充実できるような施設となる予定です。

■食堂と福利厚生会館

食堂と福利厚生会館は、学生寮と校舎を結ぶ位置にあります。

食堂1階は寮生食堂で、2階は通学生や教職員のための一般食堂となっています。

福利厚生会館の1階には学生課、保健室、学生相談室があり、2階には売店、学生談話室などがあります。

■ICTセキュリティ教育センター

ICTセキュリティ教育センターには、クラス単位でPC実習ができる演習室が2部屋あり、全学科で利用することができます。そこでは、コンピュータリテラシー、情報モラル、情報セキュリティ、プログラミング技術、コンピュータ応用技術といった様々な情報関連技術を、実技を通して実践的に学ぶことができます。

■社会連携共創センター

社会連携共創センターは、本校の産学連携・地域活性化推進活動、またアントレプレナーシップ教育支援の拠点として自治体や民間企業との共同研究等、連携や共創的關係づくりを行っています。当センターに設置してある研究・実験設備には、6軸アームロボット、走査型電子顕微鏡、3Dプリンタ、レーザー加工機などがあります。

■材料・構造物疲労試験センター

材料・構造物疲労試験センターには、水平2方向振動台装置をはじめ、実際の木造耐震壁を水平加力できる装置、極低温や高温環境下での繰り返し加力装置などがあり、専攻科生の実験や卒業研究などに利用されています。





▲寮指導学生



▲朝体操



▲学生寮行事のメインイベント：寮祭



▲学生寮の食事



▲学生寮ラーニングスペース



▲食堂メニュー（特別食）

学生寮

人との関わりを学ぶ寮生活

豊田高専では、教育施設の一つとして学生寮があります。

人との関わりの中で人は成長します。寮生活は、同輩・先輩・教職員との関わりの中で、自らの欠点を改め、長所をさらに伸ばせる場所となっています。

このような寮生活を経験した卒業生は、思いやりと協調性を持ったすばらしい社会人として活躍しています。



クラブ・同好会活動

豊田高専では、学生が豊かで有意義な体験ができるよう体育部系と文化部系のクラブ活動を支援しており、多くの学生がスポーツや文化活動に励んでいます。

体育部系には19団体のクラブ、文化部系には12団体のクラブと4団体の同好会があり学生相互の研さんの場となっています。

体育部系のクラブ活動の発表の場として、6月下旬から7月上旬にかけて東海地区の5高専によって行われる東海地区高専体育大会(16競技種目)が、また、8月下旬には全国高専体育大会(14競技種目)が開催されます。昨年度(令和6年度)、豊田高専は、東海地区高専体育大会において団体競技6種目で優勝しました。

文化部系

(令和7年4月現在)

吹奏楽部、写真部、自動車部、インターアクトクラブ、軽音楽部、コンピュータ部、囲碁・将棋部、茶道部、演劇部、スペース・デザイン研究部、ジャグリング部、総合創作部、鉄道航空研究同好会、機巧同好会、天文同好会、総合航空技術研究同好会

体育部系

(令和7年4月現在)

陸上競技部、水泳部、硬式野球部、ソフトテニス部、テニス部、卓球部、サッカー部、バスケットボール部、女子バスケットボール部、バレーボール部、女子バレーボール部、ハンドボール部、柔道部、剣道部、弓道部、山岳部、空手道部、バドミントン部、ラグビーフットボール部

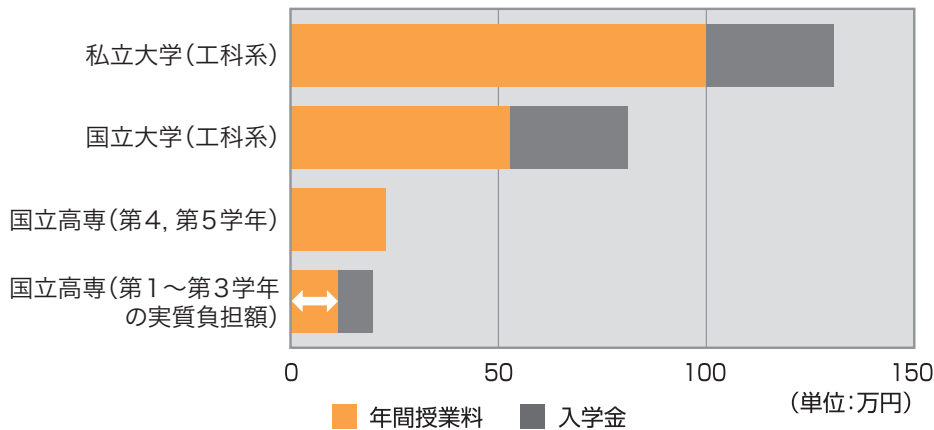
学費・奨学金

国立大学と比べて安い学費

豊田高専と工科系大学との年間の学費を比較すると、豊田高専の第4,第5学年は国立大学の1/2程度、私立大学の1/5程度の安い学費で勉強できます。

また、1年生から3年生(入学時より通算36月)は高等学校等就学支援金制度により、保護者の所得が一定の基準額未満の場合は、就学支援金が支給されます。就学支援金は直接授業料に充当されており、授業料の負担額は、世帯所得により234,600円から0円となります。

学生寮での生活費は寄宿料が月額700円(複数人部屋)または800円(個室)、寮費が食事代を含めて月額約45,000円となっています(令和7年度)。



	年間授業料(万円)	入学金(万円)
私立大学(工科系)	100 程度	30 程度
国立大学(工科系)	54 程度	28 程度
国立高専(第4,第5学年)	23.46	
国立高専(第1~第3学年の実質負担額)	23.46~0	8.46

高等学校等奨学給付金

就学支援金を受給している第1学年~第3学年のうち、低所得世帯に対して、保護者が在住する都道府県から授業料以外の養育費に充てるための奨学給付金が支給されます。

愛知県の場合、年額約30,000円~110,000円が支給されます。

日本学生支援機構貸与奨学金

学業・人物ともに優秀、かつ、健康であり、経済的理由により修業が困難である場合に、選考の上、奨学金の貸与(無利子)を受けることができます。

高等教育の修学支援新制度(授業料減免+給付奨学金)

第4学年以上の学生は、経済状況及び学力(成績・学習意欲等)の条件を満たす場合、高等教育の修学支援新制度の対象となります。世帯の状況に応じた4段階の基準で、給付奨学金の受給に加え、全額~1/4の額の授業料減免を受けることができます。令和7年度からは、多子世帯(扶養する子が3人以上)について、所得制限なく、全額の減免を受けることができます。



▲4月 入学式



▲10月 プログラミングコンテスト



▲11月 ロボットコンテスト(全国大会)



▲11月 デザインコンペティション



▲11月 こうよう祭(文化祭)



▲1月 学内対抗駅伝



▲3月 研修旅行(4学年)



▲3月 スキー教育合宿(2学年)

年間行事

こうよう祭(文化祭), 体育祭, 学内対抗駅伝などの多くの行事は学生会が企画・運営し, 非常に盛り上がっています。

学校行事としては, 志賀高原でのスキー教育合宿(2学年), 研修旅行などがあります。

行事に参加することで友だちが増え, きっと学生生活の思い出の数ページを飾ることでしょう。

年間行事予定(令和7年度)

		入学式
前学期	4月	寮祭
	5月	
	6月	前学期中間試験 キャリア教育支援プログラム (第1学年研修) 安全を誓う日
	7月	高専体育大会 (東海地区大会)
	8月	前学期定期試験 体験入学 高専体育大会(全国大会) 4学年インターンシップ 海外留学(夏組)出発
後学期	9月	夏休み
	10月	
	11月	オープンキャンパス プロコン 体育祭 全国高専ロボコン(地区大会)
	12月	こうよう祭(文化祭) 英語プレコン(地区大会) ロボコン(全国大会) デザコン
	1月	後学期中間試験
	2月	冬休み
	3月	
	4月	学内対抗駅伝
	5月	後学期定期試験
	6月	
	7月	海外留学(冬組)出発
	8月	春休み
	9月	
	10月	スキー教育合宿(2学年) 研修旅行(4学年) 卒業式

過去5年間の大学・専攻科合格者数

大学名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	過去5年間
豊橋技術科学大学	37	37	36	37	27	174
名古屋大学	6	7	7	8	3	31
名古屋工業大学	6	7	6	9	11	39
岐阜大学	2	6	8	2	5	23
三重大学	4	4	12	9	8	37
東京大学	0	2	1	0	4	7
京都大学	1	1	1	0	1	4
大阪大学	1	7	5	1	3	17
東北大学	2	4	3	2	1	12
九州大学	0	3	3	1	4	11
北海道大学	1	2	2	3	2	10
筑波大学	3	5	4	2	7	21
千葉大学	0	1	3	1	1	6
信州大学	2	4	1	0	1	8
東京農工大学	3	6	8	2	1	20
横浜国立大学	2	4	2	1	1	10
長岡技術科学大学	1	1	4	1	3	10
京都工芸繊維大学	1	1	2	0	2	6
その他の国立大学 計	9	19	24	22	27	101
東京都立大学	6	1	1	1	1	10
その他の公立大学 計	2	5	2	3	4	16
豊田工業大学	7	14	9	7	9	46
豊田高専専攻科	28	36	28	27	26	145
その他の大学等 計	1	1	8	2	5	17
計	125	178	180	141	157	781

その他の国公立大学

室蘭工業大学, 岩手大学, 茨城大学, 宇都宮大学, 富山大学, 金沢大学, 福井大学, 滋賀大学, 岡山大学, 広島大学, 九州工業大学, 鹿児島大学, 電気通信大学, 公立千歳科学技術大学, 愛知県立大学, 大阪公立大学, 名城大学, 立命館大学, 筑波大学大学院, 奈良先端科学技術大学院大学, 九州工業大学大学院

進学

卒業生の約半数が国立大学や専攻科に進学

豊田高専では近年、国立の大学（3年次編入学）や高専の専攻科に卒業生の約半数が進学しています。

豊橋と長岡の技術科学大学は、主として高専卒業生のために設立された国立大学です。

また、ほとんどの国立大学や公立大学でも、高専や短大の卒業生に対する3年次への編入学制度を設けています。

ほとんどの大学編入学試験や専攻科入学試験は異なった日時に行われます。



!! 高専の進学希望者は多くの大学を受験することができます。

専攻科に進学し、所定の手続を経て専攻科を修了すると、大学卒業と同じ学士の学位が授与されます。

過去5年間の主な就職先

機械工学科

東京電力ホールディングス、富士フイルム、カルビー、小松製作所、森永乳業、新明工業、旭化成、アズビル、JERA、平田機工、オークマ、王子製紙、小島プレス工業、JR東海、中部電力、東レ、トヨタ自動車、日本車両製造、日東電工、日本特殊陶業、パナソニックエコシステムズ、スバル、プライムアースEVエナジー、本田技研工業、三菱電機エンジニアリング、三菱重工業、村田機械、ニコン、セイコーエプソン、麒麟ビール、浜松ホトニクス、豊田合成、ブラザー工業 など

電気・電子システム工学科

JR東海、中部電力、浜松ホトニクス、デンソー、ブラザー工業、オークマ、村田機械、NTTインフラネット、トヨタ自動車、三菱電機名古屋製作所、JALエンジニアリング、NHKテクノロジー、トーテックアメニティ、富士電機、出光興産、FUJI、富士フイルム、LIXIL、JASM、NECネットエスアイ、MHIエアロスペースシステムズ、大阪ガス、ムラテックCCS など

情報工学科

トヨタ自動車、デンソー、パナソニック、キャノン、ソフトバンク、NTT西日本、NTTデータ、NTTコミュニケーションズ、JR東海、京セラ、ブラザー工業、LIXIL、浜松ホトニクス、トヨタシステムズ、デンソークリエイイト、デンソーテクノ、ソニーGM&O、サントリースピリッツ、サントリープロダクツ、CTCシステムマネジメント、アイシンソフトウェア、東邦ガス情報システム、中部テレコミュニケーションズ、ビーネックスソリューションズ、豊田中央研究所、FIXER など

環境都市工学科

国土交通省、防衛省、愛知県庁、北海道庁、名古屋市役所、豊田市役所、刈谷市役所、みよし市役所、瀬戸市役所、岡崎市役所、小牧市役所、豊橋市役所、JR東海、JR西日本、中部電力、関西電力、電源開発、東邦ガス、東京ガス、大阪ガス、清水建設、五洋建設、ショーボンド建設、NIPPO、NTTインフラネット、NTTフィールドテクノ、日本工営、八千代エンジニアリング、中日本建設コンサルタント、ヴェオリア・ジェネッツ、水ing、NEXCO中日本、名古屋高速道路公社 など

建築学科

大成建設、大林組、鹿島建設、竹中工務店、清水建設、中部電力、電源開発、東邦ガス、東海旅客鉄道、大和ハウス工業、トヨタT&S建設、戸田建設、徳倉建設、矢作建設工業、アイシン開発、ジェイアール東海建設、LIXIL、浦野設計、中日設計、住友不動産、住友林業ホームテック、中部国際空港施設サービス、豊田市役所、三井不動産レジデンシャルサービス、デンソーファシリティーズ など

卒業生の将来

昭和43年3月第1回卒業生を社会に送り出して以来、卒業生はそれぞれの分野で産業界の期待にこたえ、活躍しています。

創立以来一環して産業界からの求人要求は安定しており、別表のとおり昨年度も多くの求人をいただきました。

これは高専の少人数教育、特に実験・実習に重点を置く実践的な教育が産業界に認められ、卒業生の実社会における活躍の実績が高く評価されているからです。

令和7年3月卒業生の求人・就職・進学状況

	卒 業 者	就 職 希 望 者 A	就 職 者 B	関 係 就 職 率 $B/A \times 100$	求 人 数	進 学 者	自 営・ その他
機 械 工 学 科	34(3)	21(3)	20(3)	95.2	631	13(0)	1(0)
電 気・電 子 シ ス テ ム 工 学 科	42(6)	9(2)	9(2)	100.0	618	32(3)	1(1)
情 報 工 学 科	44(6)	17(3)	17(3)	100.0	514	26(3)	1(0)
環 境 都 市 工 学 科	38(12)	26(8)	26(8)	100.0	336	12(4)	0(0)
建 築 学 科	39(21)	25(17)	25(17)	100.0	286	14(4)	0(0)
計	197(48)	98(33)	97(33)	99.0	2,385	97(14)	3(1)

() は内数で女子

中学生からの質問と回答

Q 1 豊田高専は高校ですか？

A 高専つまり高等専門学校は、大学と同じ高等教育機関であり、高校ではありません。英語で表現すると“National Institute of Technology (KOSEN), Toyota College”です。したがって、年齢は高校生と同じでも高専生は「学生」と呼ばれます。

Q 2 高専は専門学校ですか？

A 特定の範囲の技術だけを学ぶ専門学校（「専門課程」を置く専修学校）ではありません。大学と同じ高等教育機関で、1年次から専門学科に配属されますが、5年間をかけて幅広い教養科目と体系的にまとめられた専門科目を学びます。

Q 3 3年修了時には高校卒業と同等の資格が認められますか？

A 所定の単位数を満たしていれば、3学年修了時に高校卒業と同等の資格が認められます。したがって、3年修了時点で進路変更する場合には、その年度での大学受験も可能です。

Q 4 高専を卒業した後で大学に進学できますか？

A ほとんどの国公立大学の3年次に編入学ができます。大学により編入学試験の期日が異なるため複数の大学を受験することができます。豊橋市と長岡市にある技術科学大学は、主として高専卒業生のために設立された国立大学です。

Q 5 専攻科について説明してください。

A 高専を卒業後さらに2年間高専でより高度な勉強をするのが専攻科です。豊田高専には、電子機械工学専攻、建設工学専攻、情報科学専攻の三つの専攻があります。修了時には、大学改革支援・学位授与機構の審査を経て、大学卒と同じ「学士(工学)」の学位を取得することができます。

Q 6 卒業時の就職状況はどうなっていますか？

A 豊田高専は、創立以来一環して産業界からの求人は安定しており、求人倍率も20倍以上に達しています。これは、高専の少人数教育、特に実験・実習に重点を置く実践的な教育が産業界に認められ、また、卒業生の実社会における活躍が高く評価されているからです。

Q 7 就職後の待遇は、高専卒と大学卒ではどうでしょうか？

A 高専卒業生の企業等での評判は良く、国立大学工学部の卒業生と同程度として扱われることもあります。あとは実力次第です。特に国家公務員採用一般職試験(大卒程度試験)の受験資格があり、合格して採用されれば大学卒と同じ待遇です。

Q 8 クラブ活動は盛んですか？

A 高専には3年時の大学受験がないことと、学生寮があるためにクラブ活動は盛んです。特に体育部系は多くのクラブが東海地区高専体育大会で優勝して、全国高専体育大会まで出場しています。また、文化部系も定期演奏会やこよう祭(文化祭)などを目指して熱心に活動しています。

Q 9 学費や学生寮の経費はどのくらいですか？

A 令和7年度の入学生の場合、入学金は84,600円、授業料は半期117,300円です。また、学生寮での寄宿料は月額700円(複数人部屋)または800円(個室)、寮費は食事代などを含んで月額約45,000円(令和7年度)です。

Questions From & Answers To Junior High School Students

Q10 学生寮のことを教えてください！

A 豊田高専では、教育施設のひとつとして学生寮（7棟）があります。令和7年度4月現在、約470名が寮生として生活しています。

令和7年9月に新たな低学年男子寮が完成し、第1学年の希望者は優先的に入寮できます。

第2学年以上は入寮希望者が学生寮の収容定員数を超えてしまうため、毎年入寮選考があります。

Q11 女子学生はどのくらい在学していますか？

A 豊田高専は、女子学生の入学も歓迎しています。令和6年度では、機械工学科に27名、電気・電子システム工学科に30名、情報工学科に46名、環境都市工学科に76名、建築学科に114名、専攻科に5名、合計298名の女子学生が在学しています。

Q12 入学後の転科は認められていますか？

A 1学年と2学年の年度末に限り、次年度に転科できる機会が認められています。ただし、受け入れ学科のクラスに余裕があり、成績優秀な学生でなくてはなりません。

Q13 在学中に海外留学はできますか？

A できます。YFU、AFSの派遣団体による交換留学制度により、毎年40名程度の成績優秀な学生が2～3年生の時に、アメリカ合衆国、オーストラリア、ドイツなどへ1年間留学しています。昨年度は42名が留学しました。

Q14 外国からの留学生はどのくらい在学していますか？

A 豊田高専は国際交流にも力を注いでおり、留学生を積極的に受け入れています。令和7年度は、タイ2名、マレーシア2名、カンボジア1名、モンゴル1名、ラオス1名の留学生が在学しています。

Q15 豊田高専の入試倍率について教えてください。

A 豊田高専には五つの学科があり、入学定員はそれぞれ40名の計200名です。この冊子の3ページに過去3年間の入試倍率を学科ごとに表にまとめています。

Q16 豊田高専の入試制度について教えてください。

A 各学科とも定員（40名）の30%程度を推薦により選抜し、残りの70%程度を学力（マークシート方式）によって選抜します。学力選抜では、理科・英語・数学・国語・社会（5教科）の学力の成績と調査書から総合的に合格者を決定します。しかし、学力検査の成績が各学科の上位4名以内の受験生は、調査書の内容を不問にして合格としています。

Q17 高校から高専への編入学とはどのようなものですか？

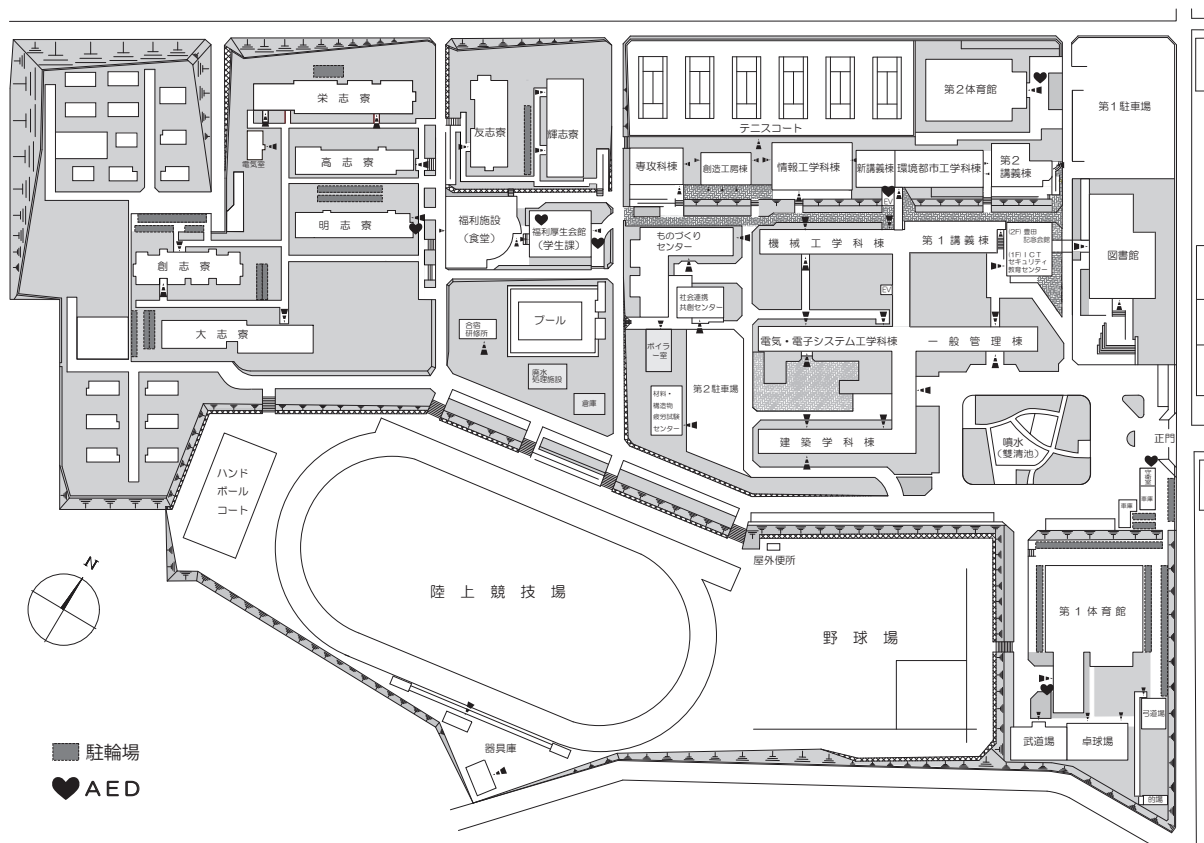
A 豊田高専では、工業高校や普通高校の卒業生による4年次への編入学制度があります。

Q18 高専を試しに受験しても良いですか？

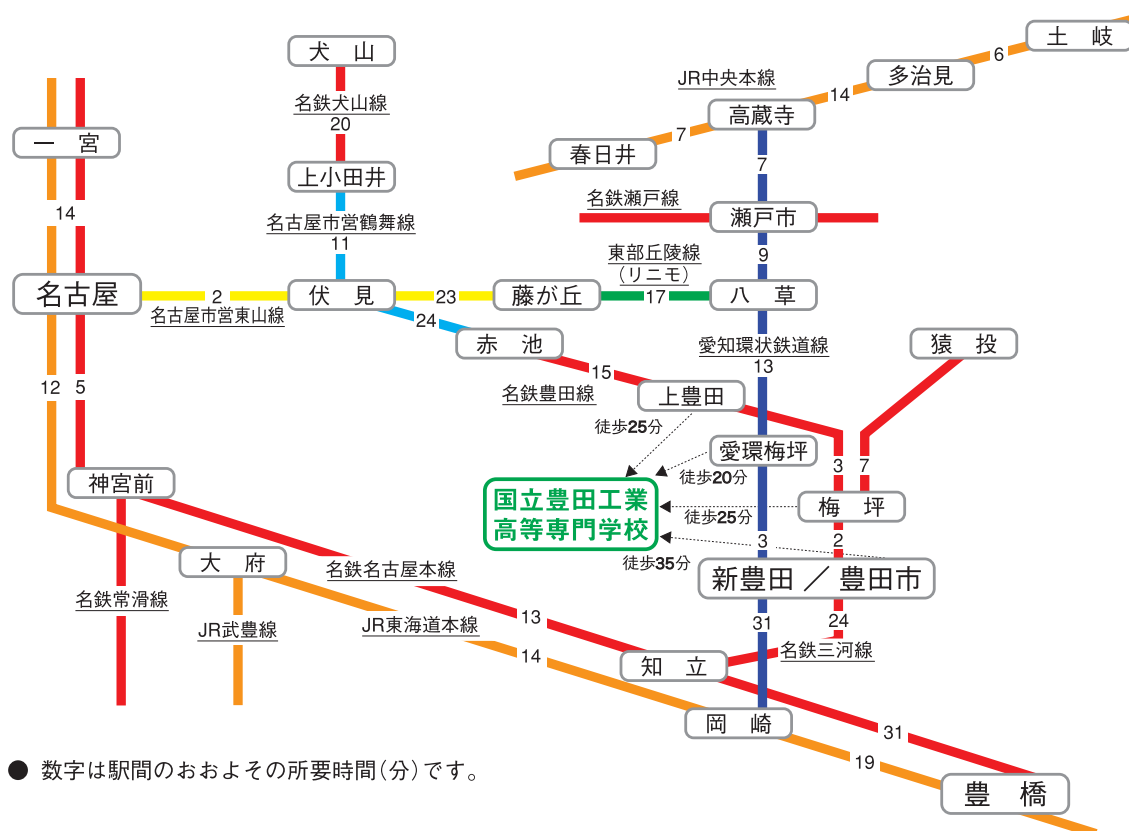
A 学力検査による選抜についてはご自由に受験してください。ただし、合格した場合「入学確約書」を指定の期日までに豊田高専へ届くように提出しないと入学はできません。

豊田高専のデータ (令和7年4月1日現在)

学校名称	豊田工業高等専門学校 (豊田高専)
学校所在地	〒471-8525 豊田市栄生町2丁目1番地
敷地面積	122,860㎡
建物延べ面積	40,070㎡
本科入学定員	200名
☐ 機械工学科	40名
☐ 電気・電子システム工学科	40名
☐ 情報工学科	40名
☐ 環境都市工学科	40名
☐ 建築学科	40名
専攻科入学定員	20名
☐ 電子機械工学専攻	8名
☐ 建設工学専攻	8名
☐ 情報科学専攻	4名
学生数	1,113名 (男子826名, 女子287名)
☐ 本科学生数	1,064名 (男子783名, 女子281名)
☐ 専攻科学生数	49名 (男子43名, 女子6名)
教員数	69名, 嘱託教授4名, 特命教授3名, 特命准教授2名 (博士号取得者数60名)
事務系及び技術系職員数	常勤41名, 非常勤等32名



豊田高専への交通案内



入学試験の要点

入学者の選抜は「推薦による選抜」と「学力検査による選抜」の二つの方法で行います。

ただし、「推薦による選抜」に不合格となった場合でも「学力検査による選抜」を受験できます。この場合、志望学科を変更しなければ、検定料の再納入及び出願書類の再提出は必要ありません。

◆推薦による選抜

中学校長の推薦書、調査書、面接により総合的に判定します。

インターネット出願受付 令和7年12月1日(月)～12月18日(木)

郵送書類受付 令和7年12月15日(月)～12月19日(金)

面接試験 令和8年1月10日(土)豊田高専にて

合格内定者発表 令和8年1月16日(金)豊田高専HPにて

合格者通知 令和8年2月16日(月)郵送のみ

◆学力検査による選抜

学力検査、調査書により総合的に判定します。

インターネット出願受付 令和7年12月1日(月)～令和8年1月22日(木)

郵送書類受付 令和8年1月19日(月)～1月23日(金)

学力検査 令和8年2月8日(日)

教科 理科・英語・数学・国語・社会

合格者発表 令和8年2月13日(金)豊田高専HPにて

www.toyota-ct.ac.jp

〒471-8525 豊田市栄生町2丁目1番地
Tel: 0565-36-5912 (学生課教務係)
Fax: 0565-36-5922 (学生課教務係)
E-mail : nyuushi@toyota-ct.ac.jp